

民進

Minshin Press (民主改題)

号外
2016年●月●日 (第1・第3金曜日発行)
民進党 民進プレス編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)
メール press@dpj.or.jp
URL https://www.minshin.jp

衆議院議員 民進党国会対策副委員長

もとむら 賢太郎

■昭和45年(1970年)4月生まれ。
■相模台幼稚園・桜台小・相模台中・県立麻溝台高・青山学院大卒。
■本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)を経て、藤井裕久衆議院議員秘書。平成15年神奈川県議に選挙区最年少で初当選。
平成19年にトップの得票で再選。平成21年衆議院議員当選。
平成24年総選挙で惜敗、平成26年総選挙で2度目の当選。
■衆議院:経済産業委員会委員、政治倫理の確立及び
公職選挙法改正に関する特別委員会委員
民進党:国会対策副委員長
(平成28年4月25日現在)



新たな挑戦と熊本地震に対する取組み

熊本を中心とする地震で、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。震災対応にあたっては、与野党の枠を超えて全力であります。一日でも早く被災地の皆様に安心していただけるよう取り組んでまいります。日頃よりお支えいただき、心より感謝を申し上げます。3月27日、「民進党」が結党され、新たなスタートを切ることになりました。「国民とともに進む」党として、「自由・共生・未来への責任」を結党の理念として、「多様性を認め合う社会」「誰にでも出番のある共生社会」を引き続き目指します。こうした社会を実現することが、子や孫の世代が誇れる日本の未来につながっていくのではないでしょうか。

1998年の結党以来、約18年にわたって皆様にお育ていただいた民主党。ご支援のおかげで、2009年の総選挙で政権交代を実現させていただきました。しかし、党内の混乱などにより、国民の審判を受けて再び野党に戻り、それからもなかなか皆様のご信頼を取り戻せずにいたのが実態だと感じております。しかし、政府・与党の横暴さが目にamarようになり、とりわけ昨年9月の安保法制に係る強行採決を契機に、自民党に対抗しうる政党をいま一度つくつていかなければならぬと強く思うようになりました。現政権の暴走に歯止めをかけるためには、野党が結集し、より大きな固まりを創ることが必要です。

そのため、昨年末に維新の党との統一會派を結成。「基本的政策合意」をとりまとめて政策の一致を確認し、本年の通常国会では統一の行動を重ねてきました。公務員制度改革や安保法制などのまとめることが難しいといわれた法案でも両党の間では合意に至っています。

改めて、政権の選択肢となれるような信頼される党となるべく、皆様からご指導をいただければ幸いです。なお、もとむら賢太郎は民進党国会対策委員会副委員長を拝命しました。政府与党の横暴に歯止めをかけ、共生社会に向けた政策実現に取組みます。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

民進党神奈川県第14区総支部長 衆議院議員 もとむら 賢太郎

民進党 はじまる。

もとむら賢太郎、2期目の仕事

(平成28年4月25日現在)

質問主意書:26本

第189回国会では衆議院議員中第5位!

質疑登壇:25回

うち本会議2回、第189回国会で衆議院国土交通委員中第3位!

公約への取組状況

重点政策

①分厚い中間層の復活・地域経済の活性化

派遣法改悪では、強行採決阻止に向け国対副委員長として活動。国の事業等に地域が参加しやすくなるよう委員会を通して国に働きかけ。

②脱原発をすすめ自然再生エネルギー社会へ

質問主意書や委員会質疑で繰り返し取り上げる。再生可能エネルギー導入に及び腰に見える政府に対し、本会議でも追及。

③集団的自衛権の行使容認に反対

国対副委員長として、強行採決阻止に向け取組。また、安保法制廃止法案や、周辺事態法改正案・領域警備法・PKO改正法を提出しています。

④定数・歳費削減、まず自ら身を削る

文書通信交通滞在費の使途の透明化を1期目に引き続き実践。定数削減について、公職選挙法改正の質疑に登壇。

⑤安心な年金・医療・介護制度の実現を

訪問医療の確立などを予算委員会分科会で取り上げる。医療関係団体と繰り返し懇談を実施。

地域経済発展に力

国土交通・経済産業委員会で相模原の課題に取組む。JAXAや国センの移転に反対し、**JAXAは存続が決定!**

■小田急多摩線延伸実現に力

15年に一度の答申で、事業の意義を認められる。市議・県議や後藤衆議院議員と国土交通副大臣や鉄道局長に申し入れ。委員会でも、何度も質疑し、前進のための課題を引き出す。

■補給廠返還で「さがみはら新都心」に力

予算委員会分科会で暫定利用が可能と答弁を引き出すなど実施。爆発事故においては、現場と政府をつなぐ役割の先頭に。

■圏央道通行料金の値下げに力

何度も国交委員会で質疑。今年4月から、43.2円/kmが36.6円/kmに下がることに決定。また、**海老名ジャンクションの渋滞解消**なども早期実現を求め、実現!

■相模線複線化と終電繰り下げに力

終電繰り下げが、3月26日から実施!2014年総選挙の公約実現。

■米軍機の騒音問題解決に力

移駐について、委員会や質問主意書で現状を明らかにし、記者会見などを実施。



JAXA相模原キャンパスは市民の誇り子どもたちの夢

○ポスターを掲示させてください

ぜひ、ご自宅の玄関やフェンスなど皆様のお近くに「もとむら賢太郎ポスター」を掲示させていただければ幸いです。どうぞ宜しくお願ひ致します。

○ボランティア募集

朝は駅でのビラ配り。日中は事務作業、ポスター貼り替え、ポスティングなどぜひ皆様のお力を貸してください。

熊本地震緊急救援募金のお願い

民進党は、4月14日、16日に熊本県で発生した非常に強い地震による被災者の救援のため、民進党熊本地方地震災害対策本部を設置し、全国的な募金活動を開始しました。多くの皆さまのご協力をお願いします。

■下記の募金口座も開設しています。

○りそな銀行衆議院支店 普通68374「民進党募金口座」

○ゆうちょ銀行00130-5-419992「民進党募金口座」

※募金の使い道は、後日、党のホームページを通じて公開します。

〒100-8981 東京都千代田区永田町2丁目2-1 衆議院第一議員会館606号
電話(03)3508-7176 FAX(03)3508-3606
〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺4-15-1 相模原綜合卸売市場E棟7号
電話(042)768-9055 FAX(042)768-9066
〒252-0313 相模原市南区松が枝町17-8 第2大栄ビル4階
電話・FAX(042)745-7920

事務所

- 国会事務所
- 相模原事務所
- 南連絡事務所

第190回国会の主な論点

消された
年金

年金積立金5兆円の大損失…7月末まで発表しない「隠す」体質を政府は改めるべき。

皆さんからお預かりしている厚生年金・国民年金を運用するGPIF(年金積立金管理有用独立行政法人)。

その運用実績について、一部で「5兆円超の損失」と報じられていることを受け、民進党は特別チームを発足しました。

また、独自の試算によって、5兆円の損失が生じていること、2014年に運用変更をしなければ損失はなかったか、損失があっても5兆円より少額だったことを明らかにしました。

2014年の運用変更は、株式比率を50%にしたもの。これによって株価はいったん上がりましたが、そのために国民の年金をリスクにさらすのは間違います。

今回の損失は、リーマン・ショック時に並ぶ大損失です。しかし、政府は具体的な数字を7月29日まで発表しないとのこと。例年より1ヶ月以上遅いのは、参議院選挙への影響を懸念してなのでしょうか。誠実な情報公開を求めます。



2016.4.3 東京新聞朝刊より

TPP協定



TPP協定・関連法案の審議がスタート。 しかし、今国会での成立は「見送り」?!

今国会最大の焦点のひとつであるTPP(環太平洋パートナーシップ)協定。4月5日、衆議院本会議でTPP協定や関連法案の審議がスタートしました。国民生活に密接に関係する内容ですから、TPPに関する特別委員会で、合意内容を明らかにしていかねばなりません。

政府から日付と会議名称以外黒塗りの資料が提出されるなど、様々な問題が発生しました。

4月18日には、民進党が「震災対応を優先させ、審議は延期」と申し入れたのに対し、与党は「安倍総理の強い意向」としてTPPの審議を強行。その翌日には、重要農産物はすべて譲歩していたと判明しました。

震災対応に優先してまで審議したTPPですが、今国会での成立は見送られる見込みとなりました。落ち着いた環境で、じっくり議論することが必要です。

4月5日(火)衆議院TPP特別委員会
理事懇談会提出資料
※全45ページの一部

民進党の提出法案32本!一部を紹介します

(28年4月21日現在、民主党・維新の党提出法案含む)

- 「正規労働者雇入臨時助成金の支給に関する法律案」(中小企業社会保険料負担軽減法案): 正規社員を増やすため中小企業新規雇用者の社会保険料の1/2を国が負担する内容。
- 「介護・障害福祉従事者的人材確保に関する特別措置法案」: 介護・福祉従事者の賃金改善を盛り込む内容。
- 「保育士等の待遇改善法案」(通称): 保育士の離職者を減らすため、給与を月5万円上げるなどの内容。
- 「領域警備法案」「国際平和協力法改正案」「周辺事態法改正案」: 「専守防衛に徹し、近くは現実的に、遠くは抑制的に、人道支援は積極的に」を実現する、安保法制への対案。しかし、政府は審議にすら応じてくれません。

もとむら賢太郎 2期目当選からのあゆみ

2期目の議席を預かって約1年半。もとむら賢太郎の活動の一部をご紹介します。

2期目当選!



2年の浪人生活でいただいた地域のお声を国政に届けます!

正月街宣



毎年恒例、お正月には街宣車で市内を回っています

党代表選挙



中央代表選挙管理委員として、代表候補とともに、日本中を回りました

委員会質疑



免震偽装問題では現場にも足を運びました。海老名JC渋滞解消、首都圏の電車遅延、厚木基地騒音問題など様々な課題に取り組んでいます

おもちつき



地域のイベントが盛りだくさん!
できる限り参加しています

小学生が国会見学



子どもたちと未来の夢について語り合い

相模原のために!



法案審査はもちろん、相模原の課題にも取り組みます。JAXAと国民生活センター移転阻止に向けて質疑



これからも、現場を重視し、地元・相模原の声を聞いて、活動に取り組んでまいります!

今国会、本会議登壇2回

政治の師・藤井先生



委員室の肖像画。先生の「いつでもどこでも誰にでも同じことを言える政治家になれ」という言葉は、政治の原点